

# 吉井祇園【よしいぎおん】



開催場所  
開催日  
指定

素盞鳴神社（祇園神社）  
7月21日・7月22日  
市町村指定無形民俗文化財

## 【芸能の概要】

天領日田の祇園囃子が伝えられたといわれる。町を4組に分け、一ノ組と三ノ組、二ノ組と四ノ組が年毎に当番、山笠を組み、その上で演奏する。囃子方は伝統的な練習方法により曲の変化は許されず、厳格に伝承されている。

## 【芸能の特徴】

祇園囃子は、江戸末期から明治にかけて町民がこぞって祭礼に参加したという。戦時中は休止したが、昭和30年頃から復活し、現在に至っている。上演日は、古くは7月17・18日に実施していたが、現在は7月21・22日の両日で、雨天でも決行される。獅子は、舞いではなく獅子褄いで、氏子宅を練り歩く。

## 【使用する祭具・道具など】

囃子方は、大太鼓1人・小太鼓1人・三味線3人・笛5人の構成で、歌詞は各組とも異なるが、神客を迎える時は「徨々」を、おひらきには「万歳」を奏する。

### ・アクセス

西鉄バス吉井営業所より徒歩10分

### ・周辺の観光

三連水車、吉井百年公園、日岡古墳、珍敷塚古墳、白壁土蔵の町並み。  
おひなさまめぐり(2~4月)、うきは蕎まつり(5月)、お宝の市(5・9・11月)

### ・近くの特産品

雛人形、富有柿。

